

平成 27 年度川口地域委員会 第 2 分科会 検討結果

1 検討テーマについて

当初のテーマ 「旧泉水小学校の活用について」

⇒新たなテーマ 「若い人たちが安心して子どもを産み、育てられる環境とは？」

※旧泉水小学校の活用を検討する中で、川口地域では少子化や人口減少が大きな課題であることを再認識し、それを踏まえた検討テーマを再設定した。

2 分科会の体制

○分科会長 星野 晃男 副分科会長 星野 志津代

○分科会委員 小宮山 正久、丸山 清、真島 文子、広井 淳一

計 6 名

※支所関係課として市民生活課が出席

3 分科会の開催状況

分科会等	開催日	会場・場所	内 容	委員の出席数
第1回分科会	6月18日	支 所	○正副分科会長の選任 ○分科会の活動計画について ○検討テーマについて	6名
第2回分科会	8月6日	川口公民館 泉水分館 (旧泉水小学校)	○旧泉水小学校の見学と現況の把握 ○今までに検討された内容について ○意見交換	6名
小国地域の視察・地域委員会交流会	8月28日	おぐにコミュニティセンター 他	おぐにコミュニティセンターの視察及び小国地域委員会との交流会を開催(交流会は川口で開催)	地域委員9名
第3回分科会	10月9日	支 所	○第2回及び視察の振り返り ○活用方法の検討 保育園、コミュニティセンター	6名
第4回分科会	11月13日	支 所	○今までの検討状況について ○これからの進め方について 新たな検討テーマの設定	6名
第2回地域員会	11月27日	支 所	○分科回の検討状況の報告	地域委員11名
第5回分科会	12月14日	支 所 他	○保育園の視察 ○保育園長との意見交換	6名

分科会等	開催日	会場・場所	内 容	委員の出席数
第6回分科会	28年 2月5日	支 所	○市の子育て支援について 子ども家庭科、保育課より説明 ○前回の振り返りと意見交換	5名
子育て支援 についての 意見交換会	2月22日	支 所	○保育園保護者会会長、副会長及び 保育士との意見交換 ・子育て支援に関するアンケート の内容について ・川口地域の子育て支援について	6名
第7回分科会	3月17日	支 所	○今年度の分科会活動のまとめ	6名

4 分科会の検討概要と検討結果

(1) 当初テーマ 「旧泉水小学校の活用について」

①検討の方法について

今川口地域が直面している「課題」や「何が必要なのか」を考慮し検討する。

※課題として出された意見

保育園…東川口保育園の老朽化。園児数の減少。統合問題など。

高齢者福祉施設…高齢化社会。都会からの移住。地域の一人暮らし高齢者。

歴史資料館、収蔵館…現在川口地域にきちんとしたものが無い。

②保育園としての活用

保育園の新築と大規模改修（旧小学校を）の比較などについて説明を受け検討した結果、活用のデメリットが大きいと考えられ、「保育園としての活用については、ゼロではないが難しい」との結論となった。

◆大規模改修の（長岡市では、小学校を保育園に大規模改修した実績はない）

【メリット】

・新築より初期投資（建築費）が少なくて済む。

【デメリット】

・大規模改修しても耐用年数に限界がある。

・旧小学校の一部しか使わないとしても、大きな維持費が掛かる。

・未満児室や乳児室、沐浴室など、保育園特有の部屋が必要となり、改修でそうした間取りができるのか懸念される。

③新たな検討テーマの設定

部会で検討を重ねる中、テーマがピンポイントで部会での議論が広がらない状況や川口地域の課題について大きなテーマ（少子高齢化など）を持って検討することが必要ではないかななどの意見、また、今までの検討を通し、少子化や人口減少が川

川口地域の大きな課題であることを再認識し、今後の検討テーマを再度協議をした。
その結果、次の新たなテーマで活動を進めることに決定した。

検討テーマ＝若い人たちが安心して子どもを産み、育てられる環境とは？

(2) 新たなテーマ 「若い人たちが安心して子どもを産み、育てられる環境とは？」

①保育園の視察及び園長との意見交換(第5回分科会 12月14日)

- 特に東川口保育園は、築37年で老朽化が進んでいる他、両園とも現在の保育環境やニーズに合わないところが見られる。
- 少子化対策は、就労支援が大きいと考えられ、一人親家庭や核家族が増加している中で、多様な対応が必要と思われる。川口地域だけの問題ではないと思うが、保育のニーズにあった施設や受入態勢が出来ていないところがあるように感じられた。

②長岡市の子育て支援について(第6回分科会 2月5日)

市こども家庭課、保育課から市の子育て支援について説明を受けた。

○こども家庭課

- ・市の子ども・子育てについての方向性
⇒「子育て・育ちあいプラン」(平成27年度から5カ年の計画)
- ・子育て支援の取り組み
子育ての駅を全地域へ開設(川口地域は4月から)
⇒子育てコンシェルジュの配置、子育ての駅サポータの登録
安心・リラックスの産後サポート
⇒産後デイケアる～む「ままりら」、ままのまカフェ など

※子育て・育ちあいプランに基づき、市民力・地域力を活かしながら「みんなで子育てをするまち長岡」を進めている。

○保育課

- ・市全体の保育園の様子と傾向、川口地域の保育園の様子について説明
- ・保育園の状況(定員、就園率、職員の配置基準など)
- ・保育園のサービス(病児・病後児保育、休日保育、一時保育など)
- ・保育園の民営化について など

※市全体の就園率は、3歳児未満が10年前に比べ大きく伸びている。0歳児は約3割、1歳児、2歳児では半分以上が保育園に入っている(両親が働いている)のが現在の市の実情で、関東圏と同様に保育士不足の状況となっている。

職員の配置基準は4歳・5歳児→1人/30人に対し、2歳→1人/6人、0歳・1歳→1人/3人となっている。3歳未満児保育が、途中入園も含め厳しい状況で、川口地域も0、1歳児は入園面接を行わざるを得ない状況となっている。

③子育て支援についての意見交換(2月22日)

保護者会代表及び保育士と住民アンケートの内容や川口地域の子育て支援について意見交換を実施

○住民アンケートの設問内容についての意見(※アンケートの素案は別紙のとおり)

- ・0歳児と1・2歳児が別々の保育園となっていることについて
- ・保育園の満足度(施設や保育の内容)について
- ・両保育園の統合について
- ・新しい子育て支援策の要望について(記述式で)
- ・地域(集落)で行われている子どもの行事やイベントについて
- ・保護者間の仲間づくりについて
- ・障害を持たれている幼児を持つ方へのアンケート(設問)も必要。 など

○川口地域の子育て支援について

- ・東川口と西川口で3歳未満児保育の場所が異なるので送迎が大変。
- ・保育園の統合問題は地域からの声が大切。
- ・施設の耐震や水害が心配。(東川口保育園)
- ・駐車場の雪が多い。園庭に虫が多く外での遊びが心配。(西川口保育園)
- ・0歳児は西川口保育園で1・2歳児は東川口保育園。保育園の変更は、子どもの負担も大きいと思う。
- ・地域が子育てや見守りを一緒に支援することが必要。
- ・一時保育(預かり)を休日なども含め、「すこやか」で地域のボランティアが担うような仕組みはできないか。 など

④まとめ

- 今まで、保育園の視察及び保護者会の代表、現場職員との意見交換、また、市全体の子育て支援、制度について情報提供を受けた。
- 施設の老朽化や安全面、現在の保育ニーズに合わない点が見られるなど、特に保育の問題は重要であると考えられることから、保育園の統合も選択肢の一つとし、今後子育て支援についてのアンケート調査を実施しながら、地域の現状や意向などの把握を行いたい。また、アンケート調査の結果を踏まえ、保育園の保護者会など保育に関わる皆さんとの意見交換を行うなど、さまざまな意見を聞き、地域委員会としての提案をまとめていきたい。
- 地域委員会で提案をまとめる時期としては、平成29年度当初予算への反映も視野に入れ、今後分科会の活動を進める。

(3) 今後の取り組みについて

27年度の結果を踏まえ、引き続き同テーマで以下の取り組みを行う。

- ①子育て支援についてのアンケート調査の実施
- ②アンケート調査を踏まえた意見交換の実施
- ③分科会としての提案内容の取りまとめ